

# 石川 勝 (いしかわ まさる)



プランナー／プロデューサー  
株式会社シンク・コミュニケーションズ 代表取締役  
2025年大阪・関西万博 会場運営プロデューサー  
大阪公立大学 客員教授

1963年札幌市生まれ。2004年、株式会社シンク・コミュニケーションズ設立、代表取締役就任。2006年から2016年まで東京大学 IRT 研究機構プロジェクトマネージャー兼 IRT コンテンツ部門長。博覧会や展示会の事業プロデュースに数多くの経験を持ち、2005年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐としてマスタープランの策定に従事。ロボットプロジェクト、愛・地球広場、極小 IC 入場券をプロデュース。2025年大阪・関西万博では会場運営プロデューサーに就任。ロボット分野、コンテンツ技術分野に専門性を持ち、東京大学の産学連携事業や経済産業省のデジタルコンテンツ EXPO 等、多彩な官民事業を手掛けてきた。

## ■主な職歴

2025年大阪・関西万博 会場運営プロデューサー (2020-)  
大阪公立大学 客員教授 (2020- 2022年4月に合併により大阪市立大学から名称変更)  
愛知県「サービスロボットショーケース推進事業」プロデューサー (2019-)  
文化庁 日本博「日本文学展 ～文学とメディアの千年譚」事業プロデューサー (2019-)  
経済産業省 デジタルコンテンツ EXPO エグゼクティブプロデューサー (2007-2017)  
東京大学 IRT 研究機構 特任研究員 プロジェクトマネージャー兼 IRT コンテンツ部門長 (2006-2016)  
東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻 非常勤講師 (2007年)  
経済産業省「技術戦略マップ (コンテンツ分野)」委員 (2008-2015)  
経済産業省「今年のロボット」大賞 推進委員・事務局長 (2006-2008)、審査委員 (2010)  
上海万博 日本政府館ロボット出展事業 実行委員長 (2010)  
2005年日本国際博覧会 ロボットプロジェクト プロデューサー (2003-2005)  
2005年日本国際博覧会 愛・地球広場 企画編成プロデューサー (2003-2005)  
2005年日本国際博覧会 チーフプロデューサー補佐 (2002-2005)

## ■著書、論文

- 「ロボット技術による高齢社会の課題解決と国際市場でのイニシアチブ獲得を同時に実現する官民パートナーシップ (PPP) の重要性」日本生活支援工学会誌 17(1), 40-43, 2017-06
- Home-Assistant Robot for an Aging Society. (Kimitoshi Yamazaki, Ryohei Ueda, Shunichi Nozawa, Mitsuharu Kojima, Kei Okada, Kiyoshi Matsumoto, Masaru Ishikawa, Isao Shimoyama, Masayuki Inaba) Proceedings of the IEEE, 2012
- 「バーチャルリアリティ学」(共著: VRコンテンツ ロボティクス担当執筆) VR学会 (2010/1)
- 「愛・地球博に見る新技術とロボットプロジェクト」(社) 情報処理学会音声言語情報処理研究会 (2006/2)
- 「万博でプロトタイプロボットをどう見せるか」日本機械学会日本機械学会誌 7月号付録 (2005/7)

## ■講演、取材

基調講演「2020年、人とロボットが暮らす街の実現に向けて」愛知県ロボットシンポジウム (2019/1)  
講演「平成27年度ロボット産業活性化セミナー」東京都立産業技術研究センター (2016/2)  
基調講演「Taiwan Industrial Technologies and Policies Forum」Keynote Speech-Robotics (2014/12)  
講演「Asia Content Business Summit 2014 技術セッション」(2014/10)  
講演「Dance Project vol.3 -SHOW 空間での Projection Mapping -」(2013/10)  
取材「Le journal de Jetro Paris」JETROパリ広報誌 (2011/6)  
講義「東京大学 IRT 通論 コンテンツ研究」東京大学 大学院情報理工学系研究科 (2009/6)  
講演「愛・地球博に見る新技術とロボットプロジェクト」情報処理学会音声言語情報処理研究会 (2006/2)  
基調講演「愛・地球博に見るモバイルの将来」NTTドコモ北海道モバイルフロンティアセミナー (2005/12)

■ 主な実績

**東京大学 IRT 研究プロジェクト**

IRT プロジェクトは、ロボット技術 (RT) と情報技術 (IT) の融合によって、少子高齢社会による社会課題の解決のために、東京大学とトヨタ自動車、パナソニック、オリンパス、富士通研究所などが行った産学連携プロジェクト。2006 年から 2016 年まで 10 年間継続し、その成果は IEEE で取り上げられるなど、世界中の注目を集めた。このプロジェクトにおいて、プロジェクトマネージャーとして事業の推進を管理するとともに、IRT コンテンツ部門長としてユーザーニーズやコストからロボットの実用化を最適化する研究に取り組んだ。



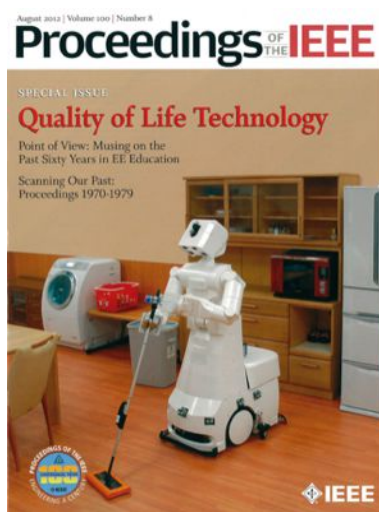
ホームアシスタントロボット



キッチンロボット



パーソナルモビリティロボット



IEEE 論文集の表紙に採用



スウェーデン国会議員団

スウェーデン高齢者福祉・国民健康担当大臣

フランス未来予測・デジタル経済開発担当大臣

スイス副大統領 兼 経済大臣

各国のVIPが視察

米Google Vice President Alfred Spector 氏

**2005 年日本国際博覧会 ロボットプロジェクト**

2005 年に愛知県で開催された日本国際博覧会 (愛知万博) において、当時世界最先端の日本のロボット技術を世界にアピールするために、実用化段階を迎えたロボットを博覧会場において 6 ヶ月間実証実験するとともに、大学等で研究されているロボットのプロトタイプを集めて 2 週間のデモンストレーションを行った。このプロジェクトにおいて、プロデューサーとして事業の全体管理を行った。



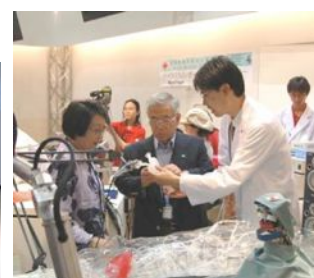
4ヶ国語の音声認識と発話機能を備えた案内ロボット



広大な万博会場を深夜に自律移動で清掃



二足歩行技術を活用して万博用に新規開発した恐竜ロボット



大学等で開発されているプロトタイプロボットを集めて展示

## イベントプロデュース

博覧会、展示会、シンポジウムなどのイベントにおける、マスタープラン開発、事務局支援、制作管理、運営管理、プロモーション活動などのプロデュース。コンセプトやテーマの深耕に加え、予算や組織運営など現実面の課題を整理する事業プロデュースを得意とする。

### <主な実績>



#### 愛知万博

博覧会協会のチーフプロデューサー補佐として、全体基本計画（マスタープラン）の策定に従事



#### 愛・地球広場

テーマ事業「愛・地球広場」の企画・編成プロデューサーとして、事業計画や編成計画の策定とコンテンツ制作管理を実施



#### デジタルコンテンツEXPO

エグゼクティブ・プロデューサーとして、最新のコンテンツ技術を招請と、シンポジウムやイベントの企画運営を主導



#### クールジャパン事業（フランス）

日本野文化産業の海外展開を促進するために、パリでダンスロボットなど日本を代表するコンテンツを披露



#### 愛知万博ロボットプロジェクト

NEDO 次世代ロボット実用化プロジェクトのサブプロジェクトリーダーとして愛知万博ロボットプロジェクトをプロデュース。



#### ロボット大賞

経済産業省が実用化に貢献したロボットを表彰する「ロボット大賞」の創設から制度設計、展示事業までをプロデュース



#### キッズデザイン博 2008

子どもの安全安心に配慮した製品を表彰するキッズデザイン賞の受賞作品の展示会イベントをプロデュース



#### 上海万博ロボット出展事業

上海万博への日本のロボット出展事業を、NEDO の実行委員会委員長としてプロデュース

## ソーシャルデザイン

社会的課題の解決のために企業や自治体、大学などが行う、地域活性化事業やCSR、USRなどのソーシャルプロジェクトのプロデュース。過去に例のないプロジェクトの企画立案と、組織や立場の垣根を越えて協働する水平連携型の組織のファシリテーションを得意とする。

### <主な実績>



#### ソーシャルプロジェクト研究会

異業種の企業が連携し、社会的課題の解決と経済活動が両立する新たなビジネスモデルを探ることを目的に、凸版印刷株式会社が行う研究会活動に参画



#### 東京大学コンテンツ研究会

東京大学において、少子高齢社会の実体やそれに伴う社会的・経済的变化を、社会学的手法を用いて解析する研究活動を主導



#### 東海大学USR活動

大学の社会貢献活動として、学生が自分たちの力で「砂浜の図書館」をつくるプロジェクトで、企画・実施を指導



#### ソーシャルメディア

USTREAM や facebook などのソーシャルメディアを用いた次世代型コミュニケーションプログラムを数多く実施

## サイエンスコミュニケーション

ロボットやVRなどの先進テクノロジーを広く社会に周知するとともに、それらの技術を社会の課題解決やイノベーションに役立てるプロジェクトのプロデュース。メディアプロモーションなどを活用して社会の期待感を向上させ、「死の谷」を乗り越えるムーブメントづくりを得意とする。

### <主な実績>



#### 東京大学 IRT プロジェクト

少子恒例社会の課題を解決するために、生活支援ロボットや移動支援モビリティなどの実用化促進プロジェクトの中核メンバーとして参画



#### ダンスロボットパフォーマンス

産総研のヒューマノイドロボットHRP-4C“未夢”を用いて、TRFのSAM氏とともに人とロボットのコラボによるダンスパフォーマンスをプロデュース



#### μチップ入場券

愛知万博の入場券に日立が開発した極小 IC チップを導入。偽造へのセキュリティを飛躍的に高めるとともに、ユニーク ID によるパーソナルなサービスを実現



#### デジタルアース

デジタルコンテンツ EXPO のコンセプト展示として、床に投影された地球の上を人が通ると、波紋が現れるインタラクティブ映像をプロデュース

## クリエイティブディレクション

ネーミング開発やデザインディレクション、空間デザインなどのクリエイティブディレクション。コンセプトの視覚化によるキービジュアルの開発と、それをツールや空間などに展開するデザインシステム開発を得意とする。

### <主な実績>



#### 恵比寿ガーデンプレイス

サッポロビールが本社を構える恵比寿ガーデンプレイスのネーミング及びデザインプロデュース。(デザイナー：佐藤忠敏氏)



#### 愛・地球博

愛知万博の愛称である「愛・地球博」のネーミング開発とデザインプロデュース。(デザイナー：田村至氏)



#### 東京ディズニーリゾート

東京ディズニーリゾートのブランディング。「テーマパークからテーマリゾートへ」をコンセプトにブランド戦略を構築



#### JAPAN CREATIVE CAFE

経産省クールジャパン事業（フランス）の出展ブース「JAPAN CREATIVE CAFE」のシンボルデザイン開発



#### 空間デザイン

展示会、博物館、ショールーム、商業施設等の空間デザイン



#### グラフィックデザイン

シンボルマーク、サイン、ポスター等のグラフィックデザイン



#### 映像コンテンツ

FLASH、ムービー、CG等の映像の制作、編集



#### WEBコンテンツ

ホームページ、facebook ページ、i アプリ等のコンテンツ制作

## 都市開発/施設開発

都市型集客施設、テーマパーク、企業ミュージアム等の都市開発、施設開発のプロデュース。コミュニケーション装置としての目的に合わせ、空間や施設の機能を体系化し、設計やデザイン、コンテンツ、運営などに反映することを得意とする。

### <主な実績>



#### 大倉山ジャンプ競技場再開発

札幌オリンピックの舞台となった大倉山ジャンプの再開発。競技会での機能性を維持しながら、観光拠点としての魅力を充実させる計画を立案



#### ハウステンボス第二期計画

ハウステンボスのオープン後の拡張計画。宿泊客及び夜間の集客を向上させるために、飲食店やショーなどを集積させた「夜の街」を計画



#### 阿蘇らくのうパーク

熊本県酪農業協同組合連合会によるテーマパーク開発事業。実際の牧場で、観光客が搾乳体験や動物とのふれあいを楽しめる施設を計画



#### 大阪ガス「ガス科学館」

大阪ガス泉北工場に立地する企業コミュニケーション施設「ガス科学館」のリニューアルプロジェクト。等身大マジックビジョンなどを導入した